

## 第1 請求の趣旨

- 1 被告 は, 原告に対し, 下記金員を支払え。  
金 円  
上記金員に対する 年 月 日から支払済みまで年 %の割合による遅延損害金
- 2 訴訟費用は被告 の負担とする。  
との判決及び仮執行の宣言を求める。

## 第2 紛争の要点 (請求の原因)

- 1 交通事故の発生 (□事故状況は別紙事故状況説明図記載のとおり)
- (1) 発生日時 年 月 日午前・後 時 分頃
- (2) 発生場所
- (3) 原告の車両等
- ①車種 普通乗用自動車 普通貨物自動車 自動二輪車  
原動機付き自転車 自転車
- ②運転者 原告 訴外\_\_\_\_\_
- ③所有者 原告  
訴外\_\_\_\_\_ (□借主 □所有権留保 □ )
- (4) 被告の車両等
- ①車種 普通乗用自動車 普通貨物自動車 自動二輪車  
原動機付き自転車 自転車
- ②運転者 被告 訴外\_\_\_\_\_
- (5) 事故態様 衝突 追突 接触
- 2 被告 の過失態様 前方不注視 センターラインオーバー 一時停止違反  
無理な追越し 制限速度違反 信号無視  
その他 ( )
- 3 原告が上記事故によって受けた物的損害の内容
- (1) 修理代金 金 円
- (2) その他 金 円 ( )
- 合計額 金 円
- 4 弁済を受けた額 金 円
- 5 被告\_\_\_\_\_ 訴外\_\_\_\_\_  
は, 被告\_\_\_\_\_の従業員であり, 上記事故は同被告の業務執行中に発生したものである。

(別 紙)

# 事 故 状 況 説 明 図

## 1 事故現場における原告と被告の事故現場状況説明図

記載例

原告の進行方向	①→	②→	被告の進行方向	㊦→	㊧→
訴外 ( ) の進行方向	㊤→	㊥→	衝突地点	⊗	歩行者 ♀ 自転車 ▽

A large grid for drawing the accident scene, consisting of 20 columns and 20 rows of small squares.

## 2 事故状況の説明

- |   |   |         |   |
|---|---|---------|---|
| ・最初に相手を発見した地点は  | ○ | その時の相手は | ○ |
| ・危険を感じた地点は  | ○ | その時の相手は | ○ |
| ・ハンドルを <input type="checkbox"/> 右 <input type="checkbox"/> 左 に切った地点は                        | ○ | その時の相手は | ○ |
| ・ブレーキをかけた地点は  | ○ | その時の相手は | ○ |
| ・ <input type="checkbox"/> 衝突 <input type="checkbox"/> 接触 <input type="checkbox"/> 追突 した地点は | ○ | その時の相手は | ○ |
| ・ <input type="checkbox"/> が <input type="checkbox"/> 停止 <input type="checkbox"/> 転倒 した地点は  | ○ |         |   |
| ・ <input type="checkbox"/> が <input type="checkbox"/> 停止 <input type="checkbox"/> 転倒 した地点は  | ○ |         |   |